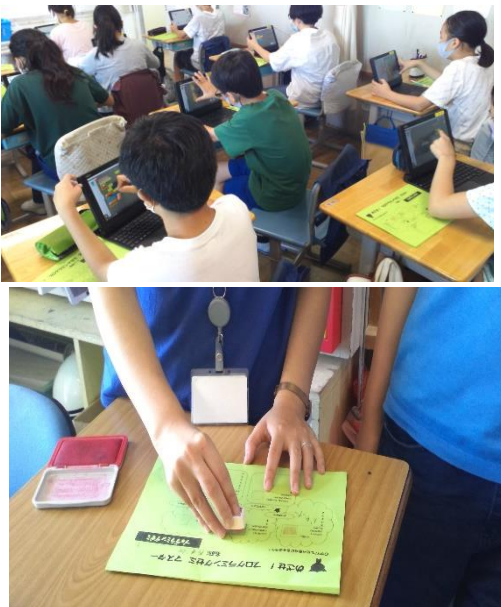


小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	国分寺の魅力を ほっちアプリで伝えよう！
学年	小学校6年生
目標	国分寺の魅力を伝えるという活動を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付いたり、プログラミングにより意図した処理をどのように実行させるか考えたりする。また、コンピュータの動きをよりよい人生や社会づくりに生かそうとする姿勢を育む。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	プロゼミ
環境	児童132名で40台のタブレットを使用
都道府県	東京都
実施校	国分寺市立第二小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>①国分寺ってどんな街？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国分寺市前市長 国分寺市観光協会会長 星野信夫さんに話を聞き、「国分寺の魅力を発信してほしい」という願いを聞く。 ・観光協会からいただいたパンフレットを中心に、国分寺の魅力ツリーを作成する。 ・ツリーから自分の調べたいことを決める。 <p>②国分寺のよいところって何だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューや映像資料、図書を利用し、自分の課題に対して調べを進める。 <p>③国分寺の良さを伝えよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DeNAのSさんに社会でどのようにプログラミングが活用されているか聞く。 ・プログラミングゼミを利用し、アプリを作成する。 ・友達や先生に作品を見せ、改善する。 ・観光協会の方に完成したアプリを見せ、活用してもらう。
成果と課題	<p>実施途中であるが、児童の作品同士を繋げて一つの作品とできるため、三密を避けたいうえでの協働的な学びが実現しやすい。オフラインでの操作が可能のためネットワークに左右されず、スムーズに活動ができた。</p>

本校児童は、プログラミング教材に触れる経験が少なかったため、本単元とは別に「プロゼミマスターになろう」という単元を設け、基本操作を学習した。



スタンプラリーのように基本操作を習得したら、判子を集めていく。